



北陸労働金庫（本店金沢市）より

ボランティア助成金 交付

●関連記事は7ページ

☆☆活動報告☆☆

2月 4日 ROBA 2月例会
13日 えちぜん鉄道活性化協議会
16日
公共交通活性化アイデア集制作会議
18日 北陸労金 助成金目録贈呈式
22日
中部地区路面電車サミット高岡大会
28日 CFD あおぞら絵本企画報告会
3月10日
公共交通活性化アイデア集制作会議
ROBA 3月例会

☆☆今後の予定☆☆

3月20日（金）
全国路面電車愛好支援団体交流会（高岡）
21日（土）
富山駅路面電車南北接続開業イベント
（フォーラム 12:50~16:00 富山大学五福キャンパス）
29日（日）
公共交通活性化アイデア集制作会議（9時~12時）
4月14日（火）
公共交通活性化アイデア集制作会議
ROBA 4月例会

善光の一言 ①9

富山の南北路面電車がつながります！

つながりを大事にする会員？ の富山県在住、善光です。
いよいよ3月21日、富山駅北の富山港線（ライトレール）
と南の市内電車がつながり、南北の直通運転が始まります！

一時期、富山市近郊でも鉄道線が2線、軌道線が4線廃止
になり、鉄道衰退期とも言える時代もありましたが、コンパ
クトな公共交通を活かしたまちづくりを目指し、鉄軌道やバ
ス路線の再生が行われました。その集大成としての南北直通

の開通です。コロナウイルスの影響で、記念イベントの縮小はありますが、みなさん、ぜひ直通運転を見に
（体験しに）来てくださいね。“鉄分”を補給して、ウイルスに対抗できる免疫力をつけましょう！



中部地区路面電車サミット高岡に参加して

高橋 八州太郎

令和2年2月22日午後2時からウィングウィング高岡の6階会議室で行われました。

ROBAからは、内田、清水、門、高橋の4名が出席（松原氏は主催者側団体で出席）。

毎年開催している中部地区路面電車サミットは、当初、豊橋市で開催する予定でしたが、諸般の事情で開催が見送られる予定でしたが、何としても開催しようとの熱き思いで、RACDA 高岡が手を挙げたことで今回の開催となった。

今回は呉西地区交通まちづくり市民会議主催の「交通まちづくり公開会議」に参加し、その後全体会議、懇親会という流れで行われました。

同公開講座は、富山大学の金山先生の講演「都市の装置としての地方鉄道の活性化」と題して講演が行われた。

面白かったのは、デパートを垂直に広がる都市と見なし、上階へ行くのにEVやESCがなかったら果たして、2階や3階に行くだろうか？、またあったとしても数が少なかったらどうだろうか？ また、そのEVやESCを単独経営したらどうなるだろうか？EVやESCを有料にしたらどうなるだろうか？こんな考え方を公共交通サービスはとしてあてはめ、都市経営としての合理性もなければならぬことを説明してくれました。とても面白い身近な視点で、『公共交通』の必要性和持続可能な公共交通の在り方について示してくれました。講演後の質疑応答でも活発な意見が出されましたが、とても丁寧な回答がなされました。

その後、路面電車サミットの全体会議が開催され、小神 RACDA 高岡副会長の司会進行ですすめられました。

出席団体の近況報告が行われました。ROBAは清水理事が報告を行いました。福井は福鉄もえち鉄も低床車を導入し、かつ相互乗入を行い、多くのP&Rを配置し、乗客数は堅調に増加傾向をたどっていることが報告された。福井はトラムトレインの先進地である証左を力説され、是非見学に来てほしいとアピールをしました。また、バス会社と地元SCとROBAでバス停の改良計画や、新しいバス交通の在り方等を一緒になって取り組んでいる、カーフリーデーふくいをやった事、新幹線に絡み、並行在来線に関する提案をしかるべき団体に提案したことなどの報告がなされた。

ASITA（北勢線とまち育みを考える会）からは貴重な体験が報告された。軽便鉄道博物館でミニ電車『ホクさん』を造り、毎月実際に運転して、毎回300人以上の市民の方が楽しみにしているとの報告がなされました。

軌道がない金沢市からは、LRT 敷設条件の一つであった、道路復員の問題も、中心部の交通量をあと4～5%縮小できれば、既存車線を2車線分をLRT空間にしても道路交通にはそれほど影響が出ないという調査結果が出たこと、建設費用も十分可能であることなど、LRT化にかかる諸課題が少しずつではあるが、解決しつつあることなどが報告された。また、今年の6月20日、21日の2日間で金沢駅地下広場でLRTに関するフォーラムを開催することが報告された。近いので皆で応援したいと思います。

また、関市のメンバーも軌道がないけど、頑張っている報告がなされた。自治会の会長をされている発表者の桜井氏は連合町会の役員もされ、その中で、「LRT に関しての講演」をしたり、地域サロンを開催し、その席で「鉄道に関する講演」を行うなど、また連合町会としてLRTに関する陳情書を提出するなど、本当に涙ぐましい活動を展開している報告がなされた。そういう味ではROBAは恵まれているなとつくづく実感した。

次回開催団体である会は、今回の新型ウィルス肺炎騒ぎの件もあり、用心のため欠席でしたが、豊橋からのメッセージが代読され、次回の開催地・豊橋市で6月13日に行うことが決定された。

その後は、RACDA 高岡会長の島さんがオープンさせた「コミュニティルームたかまちプレイス」に場所を移して懇親会に参加しました。こじんまりしたコワーキングスペースです。

ここでも会員の発表の場があり、内田会長からは、ROBA からは NPO 法人の認証を受けてから信頼が高まり、市の各種審議委員会にメンバーが推薦されて活躍していること等が報告、また清水理事からは、正しい情報発信をすることの重要性が強調され4月には RACDA 高岡のメンバーが中心となって ROBA に視察に是非来てくださーいとのウェルカムコールがなされました。RACDA 高岡の名誉会員である武山先生から来月の21日に富山大学で行われる富山駅前路面電車南北接続開業イベントを「富山大学五福キャンパス」で行われるフォーラムについてのアピールがありました。少し内容を紹介すると、基調講演として、ゆる鉄写真家の中井精也氏、事例紹介①元 RACDA 高岡会員、現在ひたちなか海浜鉄道社長の吉田千秋氏、事例紹介②歩行補助カートを使い、高齢者の外出支援を研究している中林先生、事例紹介③未病にならない日常運動効果を提唱している関根先生、事例紹介④とよはし市電を愛する会顧問の伊奈彦定氏等の面々が行う予定とのこと。是非、こそって行きたいですね。

今回のサミット参加は個人的には RACDA 高岡の副会長の大井さんと何年かぶりに会い、近況を語り合いながら「同窓会」みたいだねと妙に納得し合いました。

富山
つながる、
ひろがる。

富山駅路面電車南北接続開業イベント：五福エリア

2020.3.21 Sat.10:00-16:00
富山大学五福キャンパス(「大学前」下車)

街を使いこなすことを学び、体験する「Move U」には、移動することでココロも動くあなた(ユー)と、移動が生み出すまちの魅力をみんなで学ぶ大学(Universityのユー)の意味を込めています。フォーラムから、様々な移動機器の体験、集まることで楽しさが倍増するライブイベントやダンスパフォーマンスなど、富大生が多彩なイベントを行います。

フォーラム
黒田講堂ホール
12:50-16:00

ゆる鉄写真家
中井精也 さんと
路面電車のある風景を魅力的に
捉えることを考えます。

さらに公共交通を観光に利用している事例、市民が楽しみながら
支えている事例、病気の一手前である「未病」予防への活用など
について紹介します。

写真募集!!
路面電車のある風景を
募集します。優秀作品は
当日、中井先生からの
コメント+撮影
近況Webにて詳細発表

街を使いこなすことを学び、体験する。
Move U

街中移動を楽しむ補助ツール
モビリティ体験
10:00-16:00

玉田多紀さんの
ダンボールワークショップ
野村一晟
さんの
アンビグラム実演

ninebot Kickscooter ninebot S-Pro WHILL まちなかカート アヴィレ
五福キャンパスのメインストリート(ゆりの木通り)を交通遮断してアヴィレなどを体験できます!

共通教育棟前広場では
ダンスパフォーマンス、JAZZ LIVE、
ライブペイント

学生会館では
富大生 による
茶会・即興演奏、お菓子づくり・
ものづくりワークショップ、
アートマーケット等

富山江駅路面電車南北接続開業イベント

第18回中部地区路面電車サミット高岡大会に参加して

内田佳次

中部地区にある路面電車愛好団体が集い、情報交換しながら互いに活動の刺激を受けたり啓蒙・啓発のノウハウを学び成長していこうと、豊橋の伊奈さんのお声掛けでスタートいたしました。もう18回になるのだなと感慨深く思っています。現在は路面電車にかかわらず、鉄道に係る愛好支援団体が集っています。今回参加した団体は以下のとおりです。

- ・ ASITA（北勢線とまち育みを考える会）
- ・ 金沢・LRTと暮らしを考える会
- ・ 関に電車を望む会
- ・ とよはし市電を愛する会
- ・ NPO 法人 ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）
- ・ 万葉線を愛する会
- ・ 路面電車と都市の未来を考える会・高岡（RACDA 高岡）

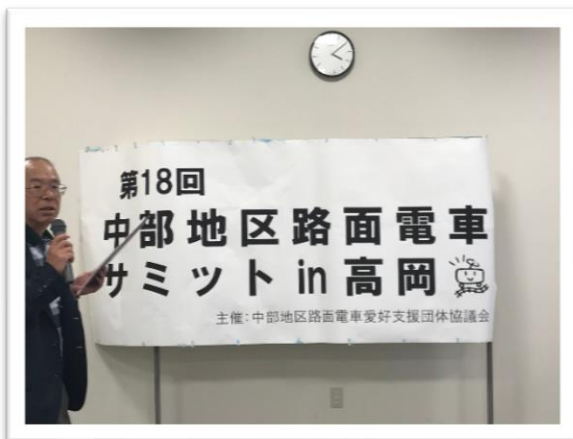
開催日時：令和2年2月22日 14:00~17:30

交通まちづくり公開講座（主催：呉西地区交通まちづくり市民会議）

講師：金山洋一（富山大学都市デザイン学部教授）14:00~16:00

全体会議 16:10~17:30

交流会 18:00~20:30



司会の小神さん（RACDA 高岡）



主催のあいさつ（RACDA 高岡 島会長）



講師の金山教授
講題は「都市の装置としての地方鉄道の活性化」

北陸労金の2019年度NPO助成金交付団体目録贈呈式に参加 林 博

2月18日（火）10：30から、金沢の北陸労働金庫で行われたNPO助成金交付団体目録贈呈式に参加してきました。式次第は以下の通りです。

10：30～ 北陸労働金庫 挨拶 理事長 狩山 久弥

10：40～ 目録贈呈

10：50～ 交付団体 代表挨拶 NPO法人 ガイア自然学校とやま（富山県） 守屋 謙
選考委員 講 評 いしかわ市民活動ネットワークセンター 青海 康男

11：10～ 交付団体 活動報告 特定非営利活動法人 ふくい路面電車とまちづくりの会（福井県）

「バス電車乗り継ぎ体験プログラムの実施と旅冊子の作成」

特定非営利活動法人 クラブぽっと（石川県）

「インクルーシブコミュニティ『おしゃべり野菜市』の開催」

12：00～ 交流会

2019年度は（実施は20年度）北陸三県で12団体、福井県4団体、石川県3団体、富山県5団体、総額284万円です。福井県からは、ROBAの他に3団体が助成を受け、いずれもNPO法人で、越前市障がいスポーツクラブ、くまっこクラブふくい（福井市）、ふくい科学学園（福井市）です。

申請した内容は以下の通りです。申請の満額回答ですので、皆さん9月22日（火祝）のカーフリーデーふくい2020のちょい旅に向けて、準備を含めて頑張ってください！よろしく！！

申請対象事業（活動）の目的	高齢者が免許返納をした場合や、日ごろ車にしか乗っていないのに急に車が使えなくなった場合に、自らが自由に広域的な移動をするためには、バス電車を乗り継いで移動する知識や情報等の能力を身に着けていることが重要だ。しかし、車にしか乗らなかった人が、「いざ明日から」自分でバス電車に乗ることや、バス電車を乗り継いで目的地に移動することはハードルが非常に高いため、車の免許を持っている今の段階から、バス電車を乗り継いで出かけられるように、体験プログラムを開催する。
申請対象事業（活動）の具体的内容	1. 「バス電車乗り継ぎ体験プログラム」の企画 ⇒令和2年のバス電車新ダイヤに合わせた乗り継ぎ時刻表の調査・作成、 電車でスケッチ・撮影などのイベント詳細の決定 体験方法の検討（対象者、コース（複数）、体験行程 等） 体験行程は発着地を自宅近隣 or 全員が同じ場所等、より日常生活に近い実体験になるような行程としたい。 2. 「バス電車乗り継ぎ体験プログラム」参加者募集 ⇒チラシ作成 印刷 配布 広報 ほか 3. 「バス電車乗り継ぎ体験プログラム」の実施 ⇒バス電車の乗り継ぎ体験、電車でスケッチ・撮影など ⇒全員交流会で体験について感想等の話し合い、意見交換会 4. 「旅の冊子」の作成 ⇒プログラム開催後も、たくさんの人が乗り継ぎを体験できるように、「バス電車であちこち旅（仮称）」という冊子としてまとめなおし、各所に配布・設置する。WEBでも公開する。

川の水上を行く県道 83 号線！

県道研究家会員？の善光です。2019 年 10 月に、埼玉県熊谷から群馬県館林までを結ぶ“県道 83 号線”を公共交通で走破してきましたので、ちょっと暇つぶしにお読みいただければ。

まずは熊谷駅前から“葛和田”行きのバスに乗ります。毎時 00 分発で便利です。



葛和田行きバス（熊谷駅）

葛和田、上中条 ゆき			箱田車		
平日（月～金）			休日（土・日・祝、12/24～12/25、12/31～1/1）		
時		時	時		時
6	31	6	6		6
7	50	7	7	40	7
8	15	8	8	15	8
9	00	9	9	00	9 07
10	00	10	10	00	10 25
11	00	11	11	00	11 09
12	00	12	12	00	12 09
13	00	13	13	00	13 31
14	00	14	14	00	14 25
15	00	15	15	00	15 25
16	00	16	16	00	16 23
17	00 40	17	17	00 40	17
18	20	18	18	20	18
19	00 40	19	19	00 30	19
20	00 30	20	20	00	20
21	00 30	21	21	00	21 休日 1/3
22	29	22	●…「上中条」止まり		22

くまがやドーム、熊谷スポーツ文化公園（ラグビー場）ゆき

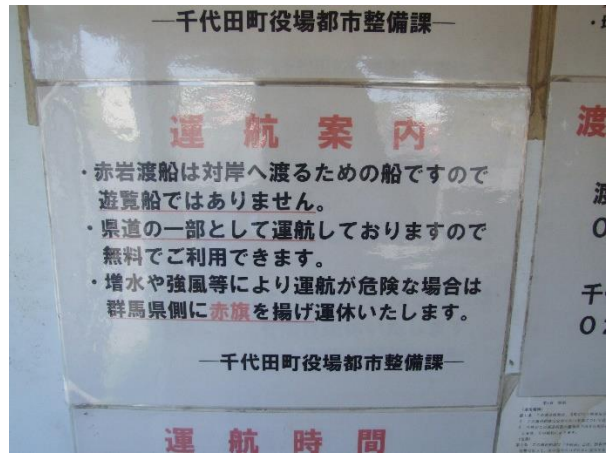
平日（月～金）			休日（土・日・祝）		
時		時	時		時
7	25	7	7		7

バス時刻表

バスは県道 83 号線を北上し、利根川に突き当たり、堤防を越えて河川敷が終点！
県道には橋がありません。その代りに渡船が運行されています。「県道渡船」ですね。
船と係員は向こう岸（群馬県側）に待機しているようで、バス停の横にある“黄色い旗”を揚げて渡船を呼びます。何とまあ原始的ではありますが。旗を揚げるなんて中学校以来？・・・そして渡船はやって来ます。次の利用者のために旗を降ろして乗りこみます。河口からかなり距離がありますが、ゆったりと流れる利根川を 5 分程で渡ります。



渡船は旗を揚げて？



渡船は県道です！



バス停脇の旗を揚げて待つ



やがて向う岸から渡船が

向う岸からも再び県道 83 号線は始まります。群馬県側のバスは 1 日 5 本。何とか館林に着きました。館林は“ぶんぶく茶釜”で有名な茂林寺があります。

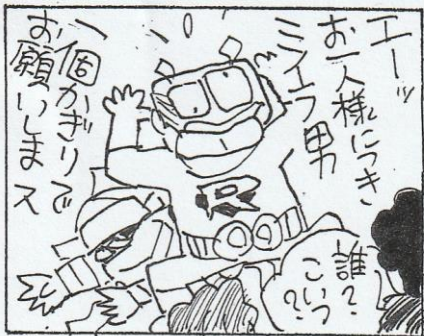
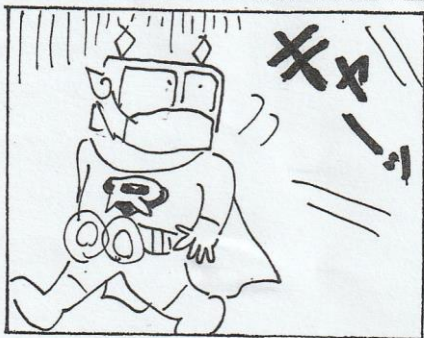


群馬県側のバス



ぶんぶく茶釜の茂林寺

怪速! by.うろ哲 路面ライダー



作／漆寄 耕次

がんばれ福井鉄道

No.6 岸本 雅行

フクラム第4編成（サクラ色の車両）に、サクラ色でハート形のつり革があるのをご存知ですか。中間車の福井方面に向かって右側（東側）にあります。ハート形のつり革は、福井鉄道全車両のうち、この1個だけです。登場して以来3年ほどになりますが、利用者でも気が付いていない人が多いようです。情報発信もあまりしていないので、大きな話題になっていないのは当然かと思いますが。



●サクラ色でハート形のつり革

地方私鉄にしては珍しい遊び心、このままでは惜しい気がします。「サクラ色の電車に乗り、ハート形のつり革をつかむと幸せになれる。」なんて噂が広がれば、これを目当てに乗車する客も増えるかも知れません。ハート形のつり革を導入している私鉄は他にもあるので、つり革下の座席の色もサクラ色に変えるなどインパクトのある演出が望まれます。

誰が言い出したかは分かりませんが、「新幹線のイエロードクター（黄色の検査車両）を見ると幸せになれる。」という都市伝説は日本全国に広く知られています。富山ライトレールでは8種類の色の違うポートルムが活躍し、「赤色の車両に乗ると恋が叶う。」という都市伝説が地元の女子高校生の間で広がりました。2人で乗ると恋愛が成就するということで、わざわざ県外から乗りに来るカップルもいるそうです。福井鉄道のハート形のつり革も、全国レベルの都市伝説となり、活性化に繋がってほしいものです。ROBAのみんなで情報発信をしてはどうですか。

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「新型コロナウイルスで世間は大混乱ですね。目に見えない敵と戦っている。映画の世界だ。人間は弱い動物であることが証明された。車好きの私は「新型コロナ」というと、すでに生産終了しているトヨタのコロナが登場するのかと思ってしまいます。」

林（変集長）

「静かな静かな桜木図書館でした……………」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>